



おいざの町

夢に向かって ふみ出す一歩
やさしく かしく たくましく

令和5年度
四ツ屋小学校
学校報 No.15
令和5年6月23日

税金について学ぶ『租税教室』が行われました 6年生(6/20)

大仙市役所の税務課から3名の方々に来ていただき、6年生を対象に租税教室が開催されました。社会科の授業で学習していたことに加え、税金の仕組みや私たちの暮らしとの関係などについて、途中でクイズやアニメなどをまじえながら、詳しく教えていただきました。

最後に一人ずつ一億円の札束を持たせてもらいました（もちろん見本ですが）。学校のプールが大体一億円くらいが相場だそうで、重い札束を持ちながら、「プールってそんなに高いのかー」と感想をもらす子どももいました。授業が終了した後も、たくさんの質問が出るなど、とても意欲的に参加しました。税金の大切やありがたさを学んだ一時間でした。



一億円は10kgあるそうです。

『プール掃除』きれいになりました 5・6年(6/21)

今年も保護者の方々(のべ7名)がボランティアで掃除を引き受けてくださり、午前中から高圧洗浄機等を使って、プールの壁や床の頑固な汚れを丁寧に落としてくれました。ピカピカにきれいになったプールを見たときは感動でした。暑い中でしたが本当にご難儀をおかけしました。ありがとうございました。



午後は、5～6年生がプールを磨いたり、更衣室やトイレの掃除、ゴミ拾いなどを「大いに楽しみながら」がんばりました。きれいになったプールでの授業は6月30日(金)からを予定しています。楽しみです。



長時間に渡り頑張ってくださいました保護者の皆様、本当にありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします！

⇒裏面へ

『大仙市教育委員会訪問』

四ツ屋小の元気な子どもたちの姿を見ていただきました(6/22)

大仙市教育委員会から、伊藤教育長を始め8名の方々に来校いただき、全ての学級の授業を参観していただきました。参観後には「子どもたちが明るく元気いっぱい、生き生きとしていた。」「子どもと先生とに一体感があり、自然な反応ができていた」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

伊藤教育長から四ツ屋小の先生方へ『子どもたちに確かな力を付けてほしい。そのためには、(大人の手を離れた時に見せる)子どもの自然な姿を大事にしてほしい。』また、『子どもたちが頑張れるかどうかは「大切な人」がいるかどうかが大きく関係している。自分のためだけでなく、大切な人のためにだったら頑張れるはず。だから大切な人(友達でもよい)を子どもたちに作らせてほしい。』とお話がありました。(先生向けの話でしたが、保護者の方々にも伝えたい内容だなと思ったので載せました。)



1年生は算数
(引き算の勉強が始まりました)

2年生は体育
(マット運動で、できるようになった技を見せてくれました)



3年生は梅・竹組
ともに算数
(長さの測り方や
m、kmなどの単位
について勉強しています)



5梅は算数(小数を使った時の倍の数の表し方で、なかなか難しそうでしたが、たくさん発表がありました。)
5松も算数(減法について、おいしい寿司を使って考えました。)



←4年生は外国語活動(時刻などの言い方。すごい盛り上がりでした。)
→6年生は社会(縄文時代から古墳時代についてタブレットを使用して調べました。グループで協力して、コンピュータ上に用意された1枚のシートに書き込んでいきます。)

